



## 平成 25 年 3 月期マイルストーン開示に係る事業計画の修正について

平成 24 年 11 月 9 日

上場会社名 株式会社ユビキタス  
 (URL <http://www.ubiquitous.co.jp/> )  
 問合せ先 代表取締役社長 三原 寛司  
 管理本部長 榎木 玲子

(コード番号 : 3858)

TEL : ( 03 ) 5908 - 3451

平成 24 年 11 月 9 日付「繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ」にて公表いたしました通り、平成 25 年 3 月期の業績予想の修正に伴い、マイルストーン開示に係る事業計画につきまして、下記の項目を修正いたします。

### 記

- 今後の業績目標 平成 25 年 3 月期 (計画)
- 各事業年度の計画達成のための前提条件に係る事項 (2) マイルストーン開示に係る事業計画の概要
  - 形態別売上高目標内訳
  - 分野別売上高目標内訳
 なお、上記以外の項目につきまして、変更はございません。

#### 1. 今後の業績目標 (平成 25 年 3 月期)

##### 【修正前】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成 25 年 3 月期 (計画)	1,000	100	100	60

##### 【修正後】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成 25 年 3 月期 (計画)	900	△55	△46	△97

\*費目ごとに予測金額を積上げた計画値を記載しております。

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容 (事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません) は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

2. 各事業年度の計画達成のための前提条件に係る事項 (2) マイルストーン開示に係る事業計画の概要

■形態別売上高目標内訳

【修正前】

	ソフトウェア 使用許諾	サポート	ソフトウェア 受託開発
平成 25 年 3 月期 (計画)	580	60	360

【修正後】

	ソフトウェア 使用許諾	サポート	ソフトウェア 受託開発	その他
平成 25 年 3 月期 (計画)	600	50	240	10

\*市場環境や企業規模の拡大見通し等を加味した推計値を記載しております。

■分野別売上高目標内訳

【修正前】

	組込みソフトウェア事業				サービスプラット フォーム事業
	ネットワーク関連		データベース 関連	高速起動 関連	
	ゲーム分野	ネットワーク 分野			
平成 25 年 3 月期 (計画)	150	470	180	150	50

【修正後】

	組込みソフトウェア事業				サービスプラット フォーム事業
	ネットワーク関連		データベース 関連	高速起動 関連	
	ゲーム分野	ネットワーク 分野			
平成 25 年 3 月期 (計画)	190	390	120	180	20

\*市場環境や企業規模の拡大見通し等を加味した推計値を記載しております。

■前回のマイルストーン開示 (平成 24 年 5 月 14 日発表) からの変更点

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間においては、国内エレクトロニクス業界の不振の影響を受け、ネットワーク関連のうちデジタルテレビに関するロイヤルティ収益、及び予定していた新規受託開発などの売上高が予想よりも低調に推移しました。通期では、プラス要因として高速起動関連での新規ロイヤルティ収益の獲得を見込むものの、ネットワーク関連では第 2 四半期累計期間同様の厳しい状況が当面は継続すると判断し、第 2 四半期累計期間の業績を踏まえ、事業計画について業績目標、形態別及び分野別売上高目標内訳の修正を行います。

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容 (事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。) は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

## 平成 25 年 3 月期業績目標

前回計画では、平成 25 年 3 月期に売上高 1,000 百万円（経常利益 100 百万円）という業績目標を掲げておりましたが、売上高 900 百万円（経常利益 △46 百万円）に修正いたします。形態別および分野別の主な修正理由は以下の通りです。

### 形態別売上高目標

ソフトウェア使用許諾については、デジタルテレビ関連のロイヤルティ収益が減少したものの、ゲーム関連が好調に推移したこと、本事業年度中にデジタル高速起動関連の新規大型案件で一定のロイヤルティ収益を予定していること等により、従来目標売上高 580 百万円を 600 百万円に修正いたします。なお、従来ソフトウェア使用許諾に合算していたサービスプラットフォーム事業に関する製品売上高を「その他」として別掲することとしました。

一方、受託開発については、国内エレクトロニクス業界の不振の影響から開発規模の縮小や凍結などの傾向がみられ、今後も厳しい状況が継続することが見込まれるため、従来目標売上高 360 百万円を 240 百万円に修正いたします。

### 分野別売上高目標

ネットワーク関連のうち、ゲーム分野については、第 2 四半期累計期間中に発売された携帯型ゲーム機向けの大型タイトルの販売が売上に寄与し予想を上回って推移しました。今後は減速を見込むものの、従来目標売上高 150 百万円を超えることが見込まれ、190 百万円に修正いたします。

ネットワーク関連のうちゲーム以外については、無線やホームネットワーク分野の商談は引き続き活発化の傾向にありますが、国内エレクトロニクス業界の不振の影響による受託開発案件の減少などを考慮して、従来目標売上高 470 百万円を 390 百万円に修正いたします。

データベース関連については、既存顧客からのロイヤルティ収益は堅調に推移しているものの、新規顧客のソフトウェア導入意欲の低下などから新規案件の獲得が低調に推移しており、従来目標売上高 180 百万円を 120 百万円に修正いたします。

デバイス高速起動関連については、これまで開発を続けてきた車載機器関連の新規大型案件での量産製品への搭載の目処が立ち、当事業年度下半期からのロイヤルティ収益を予定していることなどから、従来目標売上高 150 百万円を超えることが見込まれ、180 百万円に修正いたします。

サービスプラットフォーム事業については、「電力見える化ソリューション」の一環として開発を進めていた、無線 LAN 内蔵電源タップ「Navi-Ene Tap」の出荷を 9 月より開始し、販売パートナーであるサンワサプライ株式会社より販売が開始され、クラウドサービス「Navi-Ene」も 9 月 27 日よりサービスを開始しました。予定より半年ほど事業化が遅れたこと等から、従来目標売上高 50 百万円を 20 百万円に修正いたします。今後は BtoB ビジネスへの展開も含めて関連事業を本格化してまいります。

以上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。